

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2016年第46週
(11月14日～11月20日)

- * 2016年11月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「平成28年・麻しんの国内流行」も掲載
しています。

平成28(2016)年11月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

定点把握対象疾患 報告数 2016年46週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		43週	44週	45週	46週		
小児科	RSウイルス感染症	311 1.20	155 0.59	142 0.54	134 0.51	263	264
	咽頭結膜熱	63 0.24	53 0.20	61 0.23	77 0.29		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	456 1.75	488 1.86	506 1.94	544 2.07		
	感染性胃腸炎	1,681 6.47	2,486 9.45	3,671 14.07	5,322 20.24		
	水痘	93 0.36	76 0.29	128 0.49	129 0.49		
	手足口病	339 1.30	265 1.01	176 0.67	197 0.75		
	伝染性紅斑	25 0.10	20 0.08	22 0.08	17 0.06		
	突発性発しん	144 0.55	123 0.47	116 0.44	142 0.54		
	百日咳	3 0.01	6 0.02	8 0.03	4 0.02		
	ヘルパンギーナ	90 0.35	57 0.22	44 0.17	50 0.19		
	流行性耳下腺炎	189 0.73	216 0.82	236 0.90	181 0.69		
	川崎病 *1	10 0.04	1 0.00	3 0.01	5 0.02		
	不明発しん症 *1	22 0.08	26 0.10	17 0.07	11 0.04		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	159 0.39	242 0.58	390 0.94		
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	27 0.69	22 0.56	20 0.51	13 0.33		
基幹	細菌性髄膜炎 *3		1 0.04			25	25
	無菌性髄膜炎	1 0.04	1 0.04	2 0.08	2 0.08		
	マイコプラズマ肺炎	46 1.84	33 1.32	48 1.92	32 1.28		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04		2 0.08	1 0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	4 0.16	2 0.08	1 0.04	2 0.08		
	インフルエンザ入院	4 0.16		1 0.04	5 0.20		

2016/11/24集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、流行警報基準の20.0を超えた。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、流行開始基準の1.0を超えた。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年46週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	15			16	1	1					
6～11か月	25	6	2	188	6	19		39	1	8	
1歳	53	20	15	598	10	78	2	85		14	5
2歳	29	8	26	510	8	31		14	1	6	6
3歳	6	11	43	568	9	19	2	3		4	19
4歳	3	8	60	601	10	18	2			6	14
5歳	1	6	74	558	21	13	2	1		4	20
6歳		5	58	502	20	4	1			2	20
7歳		5	56	332	12	3	2				23
8歳		1	68	296	10	2	1				21
9歳	1	1	47	196	5	1	1			2	16
10～14歳		1	69	405	15	4	4		1	3	30
15～19歳		1	3	56	1						3
20～29歳	1	4	23	496	1	4			1	1	4
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	134	77	544	5,322	129	197	17	142	4	50	181
先週比	-8	16	38	1,651	1	21	-5	26	-4	6	-55

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月							1				1
6～11か月	2		6								
1歳	2	7	11							1	
2歳	1	2	20								
3歳			27		2			2			
4歳			45					2			
5歳			43					3			
6歳			40					4			
7歳			57		1			2			
8歳			45								
9歳			29				1	2			
10～14歳			148					8		1	1
15～19歳		2	37								
20～29歳			37		3			3			
30～39歳			36		2			1			
40～49歳			39		3			2			
50～59歳			16					1	1		
60～69歳			12		2			2			
70～79歳			2								2
80歳以上			2								1
合計	5	11	652		13		2	32	1	2	5
先週比	2	-6	262		-7			-16	-1	1	4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2016年46週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		1.00	0.33	4.00		0.33					
中央区		1.67	0.33	43.00		0.67		1.00		0.67	
みなと	0.50	0.67	1.17	13.00	0.33	1.83		0.50			0.33
新宿区	1.13	0.50	2.25	12.63		0.25		0.38			
文京		1.00		14.00	0.25	1.50		0.50			1.25
台東		0.25		46.00	0.25			0.75		1.50	0.75
墨田区	0.40	0.20	1.80	13.40	0.20	0.20		1.00			0.40
江東区	0.22	0.33	2.44	38.22	1.22	0.78	0.11	0.44		0.11	0.11
品川区	0.63	0.13	0.63	23.38	0.38	0.25		0.38		0.50	1.38
目黒区	0.60		0.80	27.60		2.60	0.80	0.20		0.20	0.80
大田区	0.62	0.69	2.54	27.08	0.38	1.46		0.31	0.08	0.23	0.54
世田谷	0.38	0.50	1.25	17.13	0.19	0.94	0.19	0.13		0.25	0.31
渋谷区		0.25		18.50	0.75	0.25					
中野区	1.33		1.17	26.67	1.50	0.83		1.50		0.50	
杉並	0.82	0.09	0.55	12.82	0.36	0.45		0.27		0.27	0.09
池袋	0.25	0.25	0.75	6.75	0.25	0.75		0.25			
北区	0.29		0.86	19.86	0.29	1.00	0.14	1.00		0.29	0.14
荒川区	0.75		1.00	36.25	0.50	0.50	0.25	0.25		0.25	1.25
板橋区			0.90	15.70	0.70	0.30		0.30	0.20		0.30
練馬区	0.08	0.08	4.54	15.31	1.15	0.85		0.46		0.31	0.38
足立	0.46	0.23	1.38	31.23	0.54	0.46		0.62		0.08	0.62
葛飾区	0.13		3.00	33.13	0.13	0.25	0.13	0.88			0.75
江戸川	0.33	0.75	2.42	36.50	0.42	0.42	0.08	0.92		0.17	0.08
八王子市	1.09	0.09	2.64	22.64	0.64	2.09	0.09	0.64		0.27	1.55
町田市	0.13		2.63	19.13	1.00	0.50		0.50		0.13	2.88
西多摩	0.88		1.75	7.63	0.38	0.63		0.38		0.25	0.63
南多摩	2.11	0.44	1.67	14.11	0.44	0.56	0.11	0.33		0.22	0.56
多摩立川	0.29	0.14	2.29	7.71	0.64	0.43		0.50		0.07	1.14
多摩府中	0.38		2.00	17.48	0.29	1.05	0.10	0.86	0.05	0.10	1.57
多摩小平	0.67	0.67	6.87	12.27	0.60	0.20	0.07	0.73		0.13	0.80
島しょ		1.00	3.00								
東京都	0.51	0.29	2.07	20.24	0.49	0.75	0.06	0.54	0.02	0.19	0.69

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			1.25					1.00			1.50
中央区	0.33	0.67	0.80								
みなと			0.67					1.00			
新宿区	0.25		0.42		1.00			1.50		0.50	
文京			1.43		1.00						
台東			1.83								
墨田区			1.13					3.00			
江東区			0.57								
品川区			1.33								
目黒区			0.88								
大田区			3.55								
世田谷		0.06	4.08				1.00				0.50
渋谷区			1.43					1.00			
中野区			3.00								
杉並	0.09		1.88		1.00			1.00			
池袋			0.71					2.00			
北区			0.27		1.00						
荒川区			1.29								
板橋区		0.10	1.19					2.00			
練馬区			2.29		1.00						
足立			1.50		1.50						
葛飾区		0.13	2.46					4.00			
江戸川			1.00		0.50						
八王子市		0.18	1.78		0.50			2.00		1.00	
町田市			1.00								
西多摩		0.13	0.57								
南多摩			1.50								
多摩立川	0.07		0.62					1.00			
多摩府中		0.10	1.53		0.33			2.67	0.33		0.33
多摩小平		0.07	1.04					0.50			
島しょ			0.50								

東京都	0.02	0.04	1.57		0.33		0.08	1.28	0.04	0.08	0.20
-----	------	------	------	--	------	--	------	------	------	------	------

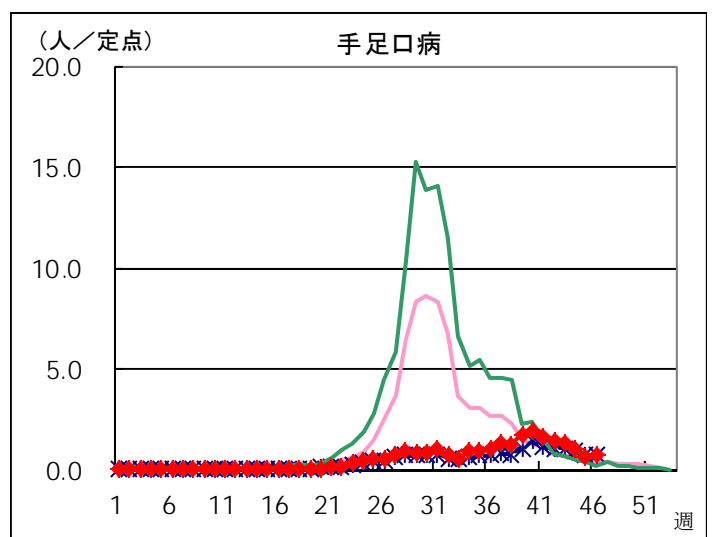
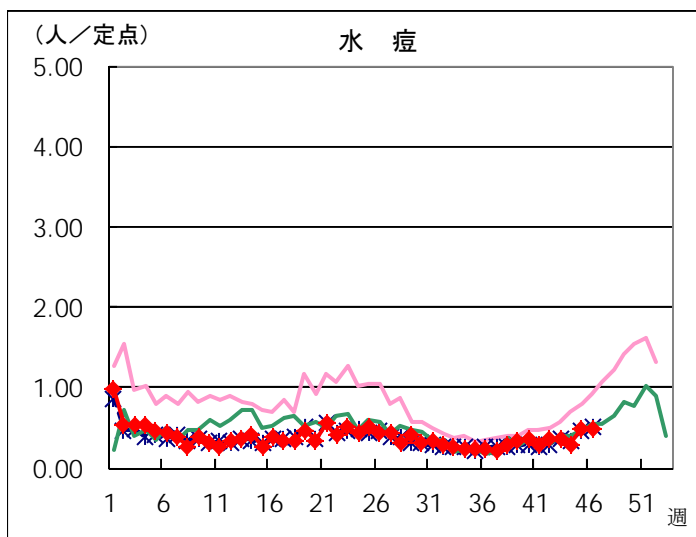
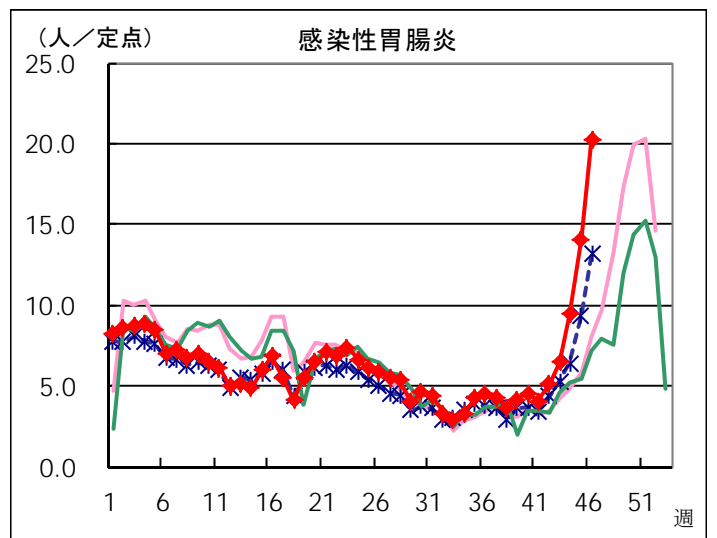
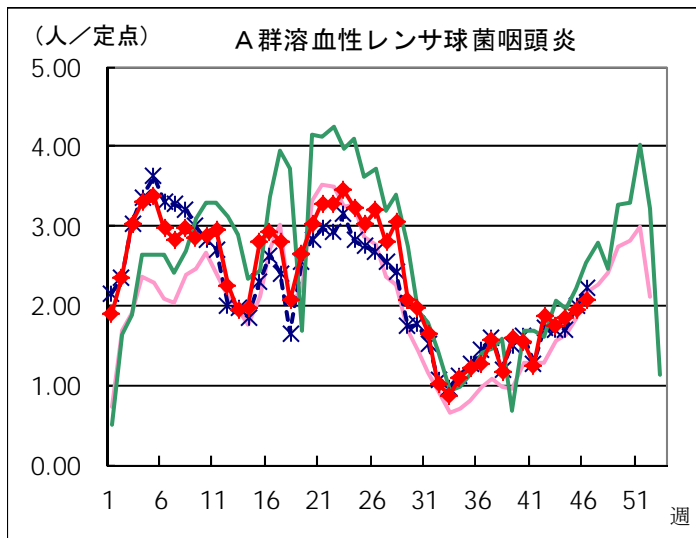
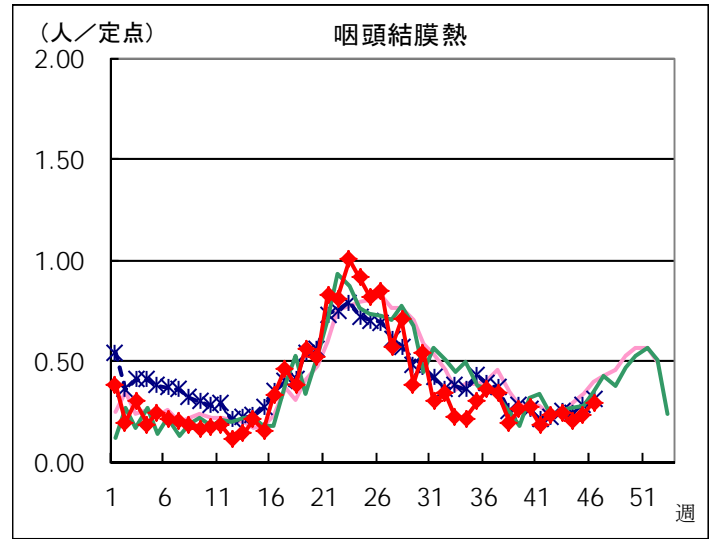
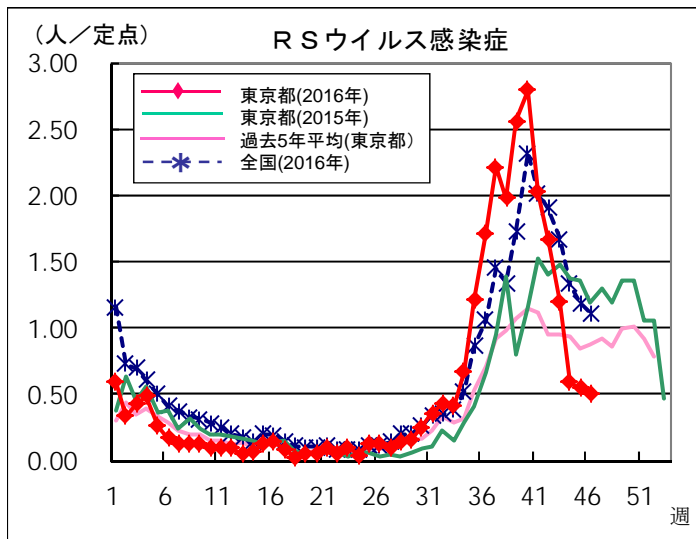
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年46週

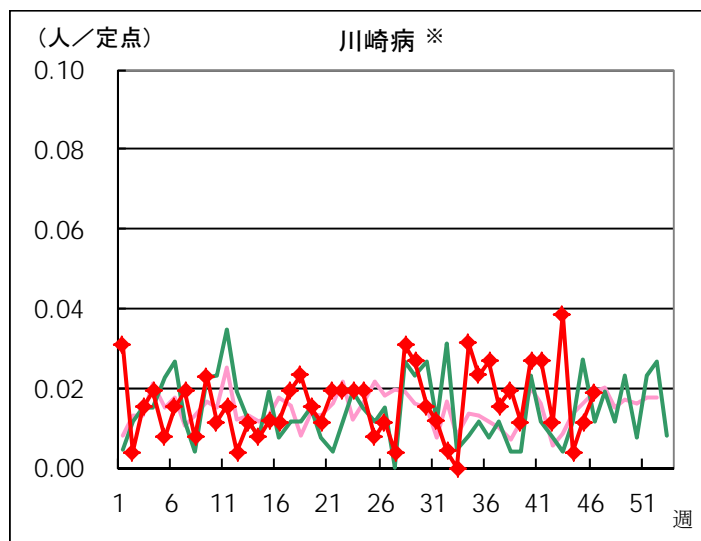
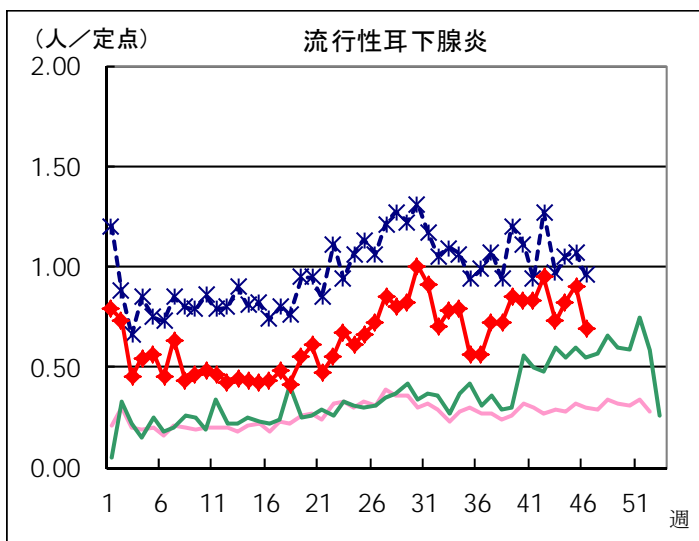
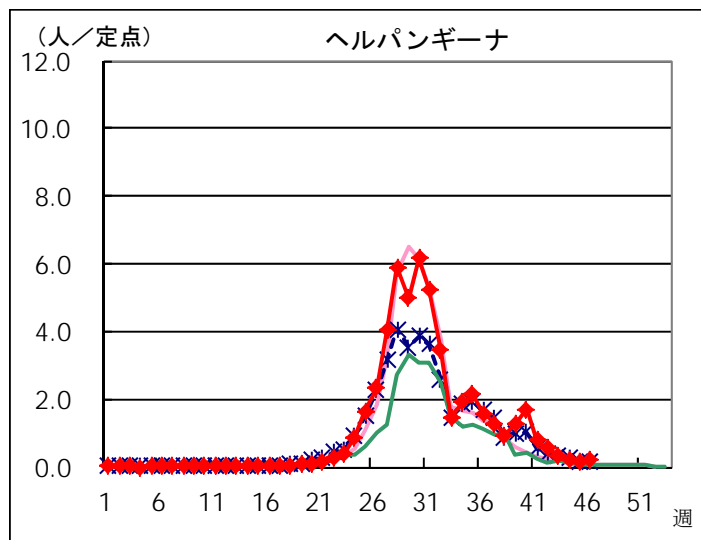
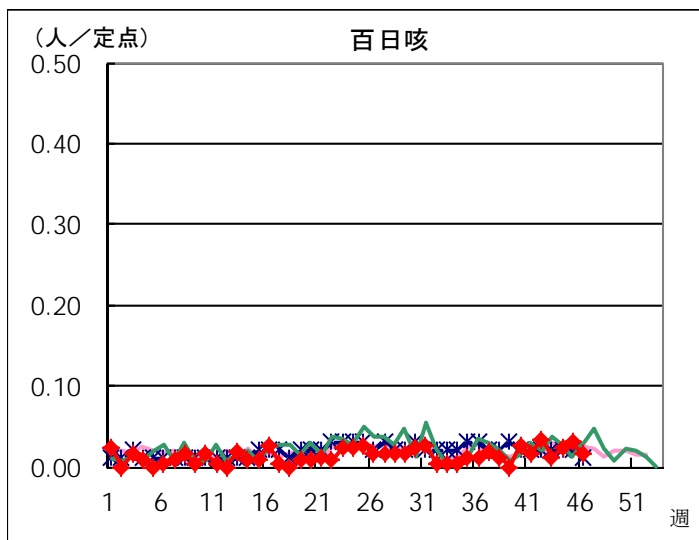
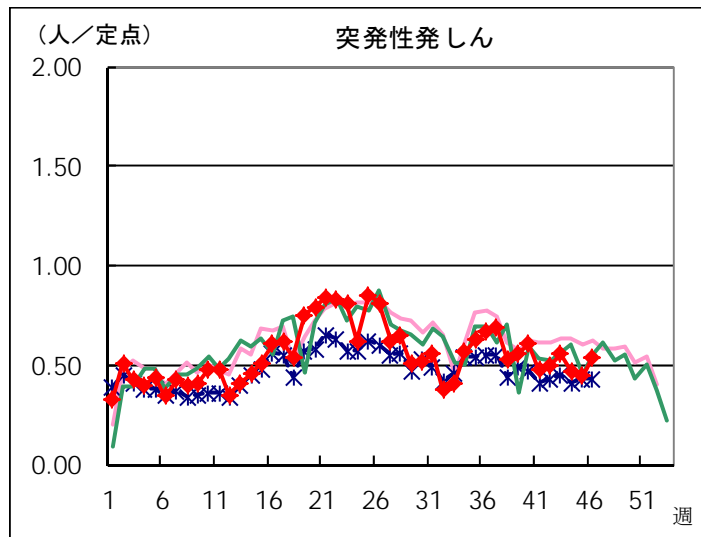
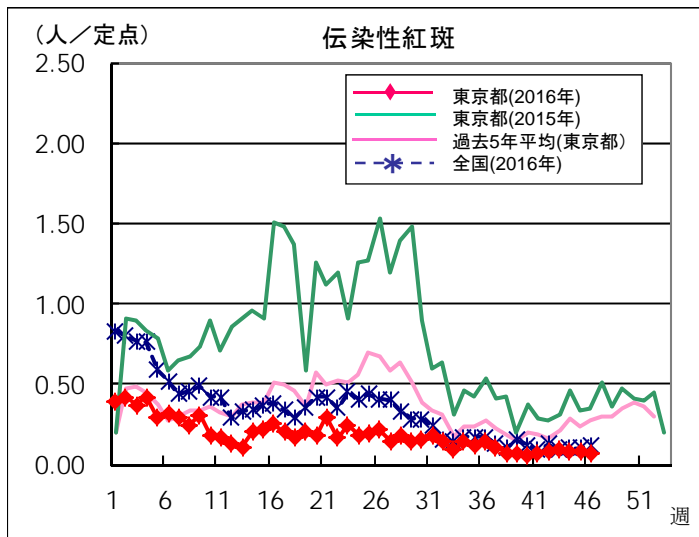
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		3	1	12		1					
中央区		5	1	129		2		3		2	
みなと	3	4	7	78	2	11		3			2
新宿区	9	4	18	101		2		3			
文京		4		56	1	6		2			5
台東		1		184	1			3		6	3
墨田区	2	1	9	67	1	1		5			2
江東区	2	3	22	344	11	7	1	4		1	1
品川区	5	1	5	187	3	2		3		4	11
目黒区	3		4	138		13	4	1		1	4
大田区	8	9	33	352	5	19		4	1	3	7
世田谷	6	8	20	274	3	15	3	2		4	5
渋谷区		1		74	3	1					
中野区	8		7	160	9	5		9		3	
杉並	9	1	6	141	4	5		3		3	1
池袋	1	1	3	27	1	3		1			
北区	2		6	139	2	7	1	7		2	1
荒川区	3		4	145	2	2	1	1		1	5
板橋区			9	157	7	3		3	2		3
練馬区	1	1	59	199	15	11		6		4	5
足立	6	3	18	406	7	6		8		1	8
葛飾区	1		24	265	1	2	1	7			6
江戸川	4	9	29	438	5	5	1	11		2	1
八王子市	12	1	29	249	7	23	1	7		3	17
町田市	1		21	153	8	4		4		1	23
西多摩	7		14	61	3	5		3		2	5
南多摩	19	4	15	127	4	5	1	3		2	5
多摩立川	4	2	32	108	9	6		7		1	16
多摩府中	8		42	367	6	22	2	18	1	2	33
多摩小平	10	10	103	184	9	3	1	11		2	12
島しょ		1	3								
東京都合計	134	77	544	5,322	129	197	17	142	4	50	181

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			5					2			3
中央区	1	2	4								
みなと			6					1			
新宿区	2		5		2			3		1	
文京			10		1						
台東			11								
墨田区			9					3			
江東区			8								
品川区			16								
目黒区			7								
大田区			71								
世田谷		1	102				2				1
渋谷区			10					1			
中野区			30								
杉並	1		32		1			2			
池袋			5					2			
北区			3		1						
荒川区			9								
板橋区		1	19					2			
練馬区			48		2						
足立			30		3						
葛飾区		1	32					4			
江戸川			19		1						
八王子市		2	32		1			2		1	
町田市			13								
西多摩		1	8								
南多摩			21								
多摩立川	1		13					1			
多摩府中		2	49		1			8	1		1
多摩小平		1	24					1			
島しょ			1								
東京都合計	5	11	652		13		2	32	1	2	5

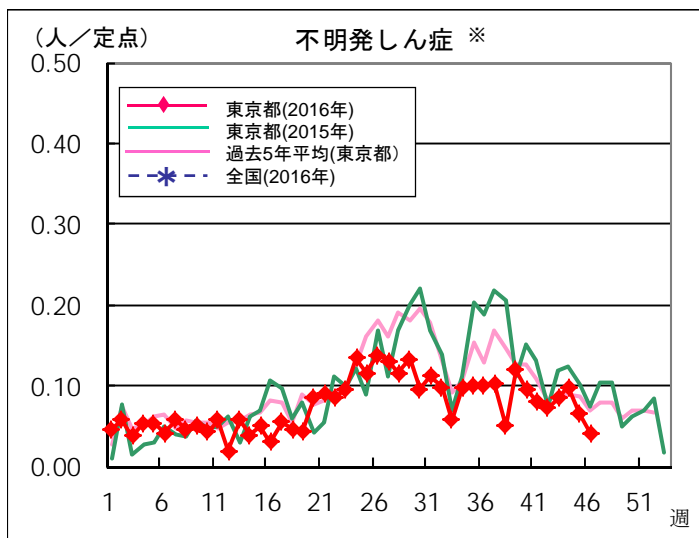
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2016年46週 現在)

◆ 小児科定点



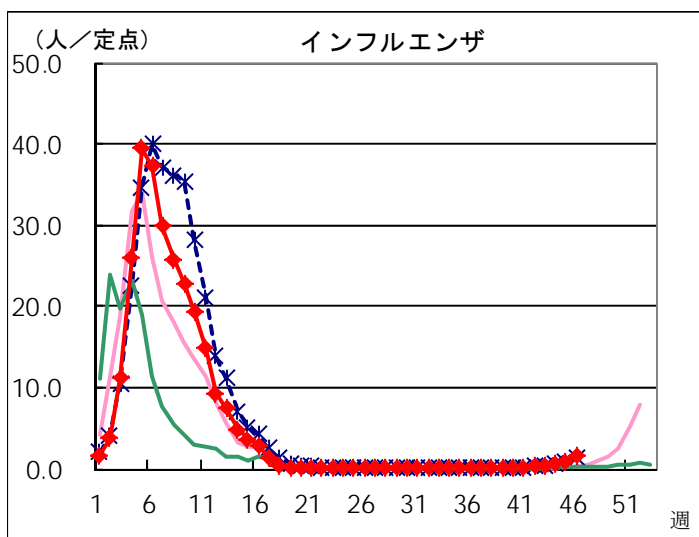


※ 東京都独自対象疾患

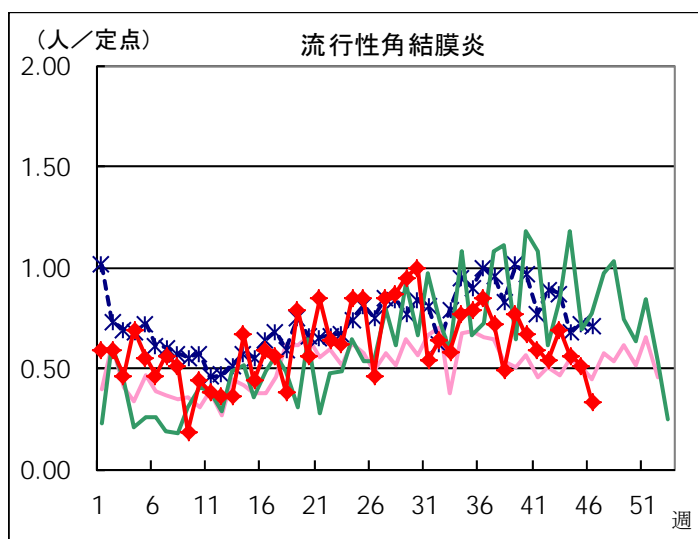
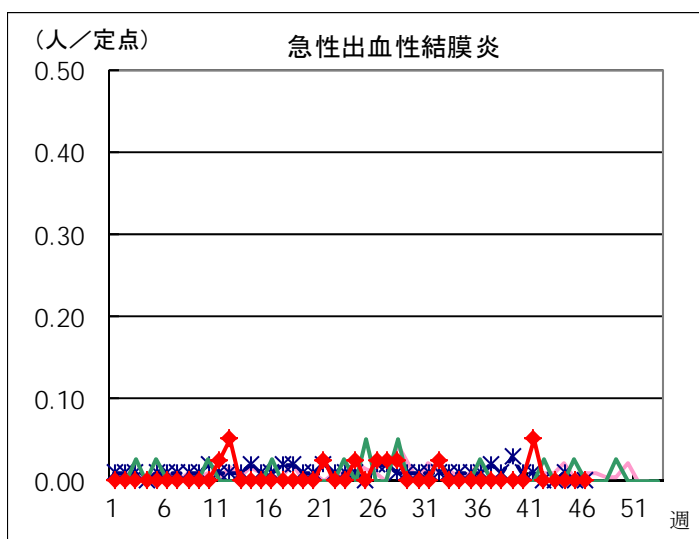


※ 東京都独自対象疾患

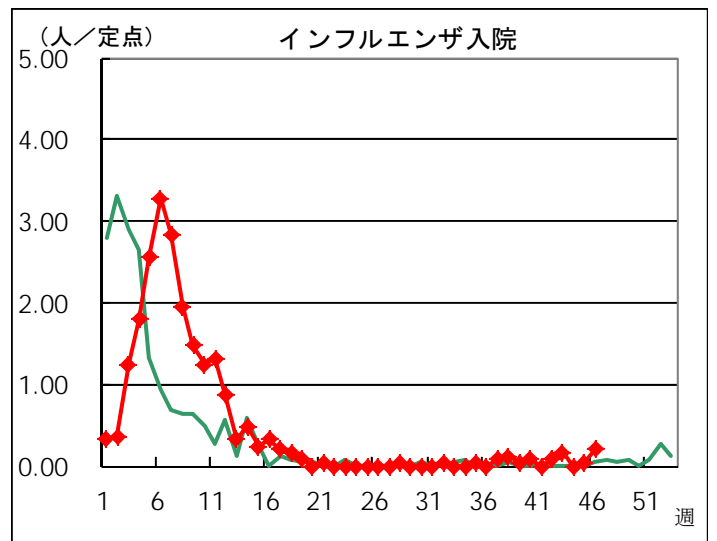
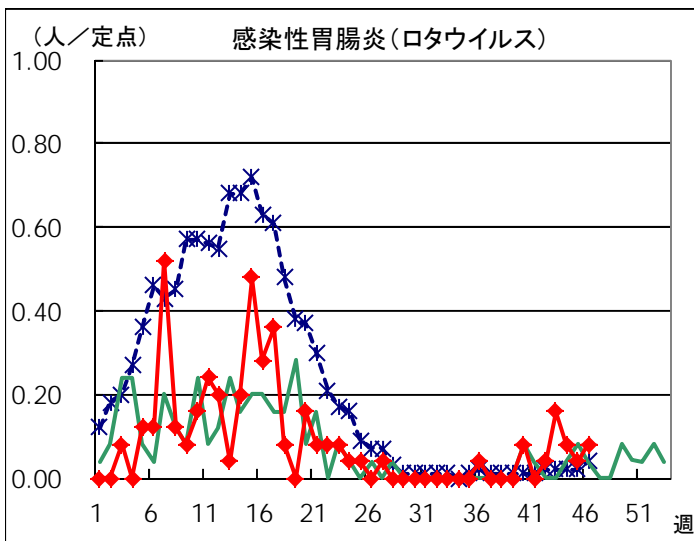
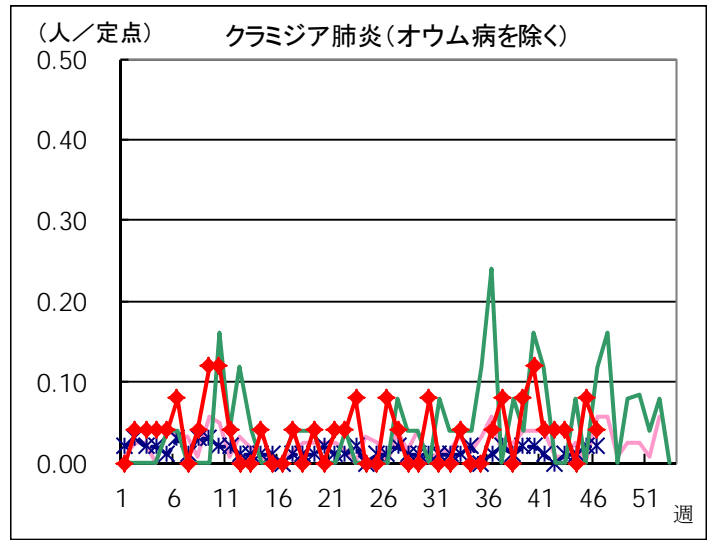
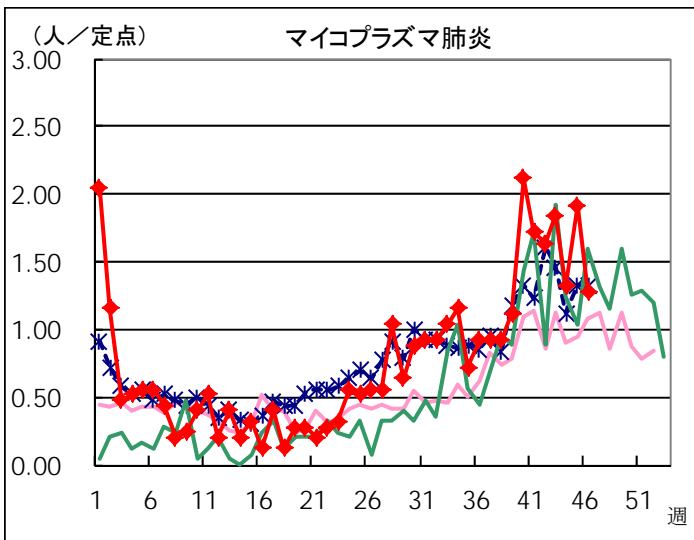
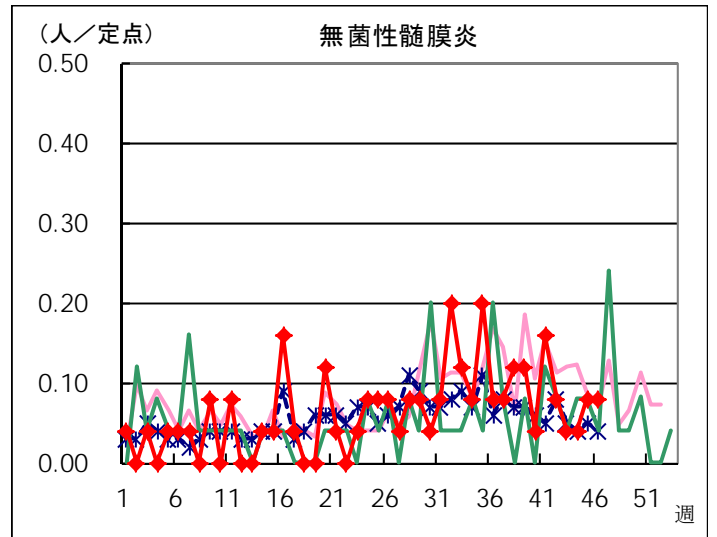
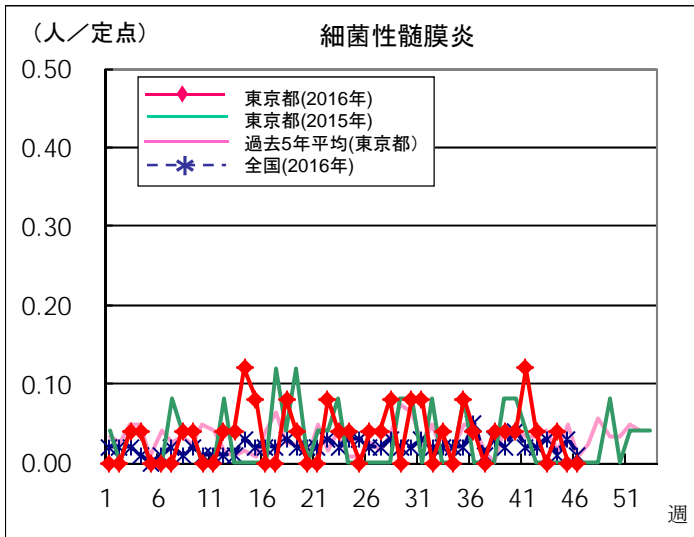
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
10/7	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
10/7	マイコプラズマ肺炎	17	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ(分離)
10/15	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌その他のT型
10/20	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
10/27	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
10/28	手足口病	9M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
10/31	感染性胃腸炎	3	直腸拭い液	ノロウイルスG II
10/31	感染性胃腸炎	5	直腸拭い液	ノロウイルスG II
11/1	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年44週	1			
2016-2017年 シーズン累計*	1		7	

* 2016-2017年シーズンの開始は第36週(2016年9月5日～)

<感染症豆知識>

平成 28 年・麻しんの国内流行

平成 27 年 3 月、日本は WHO より麻しん排除国として認定を受けた。排除とは麻しん報告数がゼロではないが、土着株（その地域に特有とされる遺伝子型の麻しんウイルス:日本の場合は D5 型）による麻しんが 36 カ月以上なく、外部から侵入した麻しんウイルスが 12 カ月以上持続していないことであり、その裏付けとしてきちんとした患者報告システムと遺伝子型までのウイルス診断が求められる。そして麻しんワクチン 2 回の高い接種率である。わが国では all Japan で取り組んだ結果、これを達成したといえよう。平成 27 年は 35 例、平成 28 年も夏前までは一桁数の報告であった。

しかし 8 月に入ると、千葉県松戸市で渡航歴のない成人女性 A から家族・医療機関などを介した麻しんが発生。また千葉県幕張メッセでのコンサートに行った関西在住の若者 B が麻しん発症中であったことが判明、関西空港職員 C とその職場での麻しん発生などの情報が相次いだ。A はインドネシア由来を疑わせる D8 型、B はインドネシアから関空に戻り、帰宅後にコンサートに参加したことなどから A、B 両者には関連がありそうで、2.5 万人もの若者が集まったコンサート会場での感染拡大の可能性にヒヤッとした。一方 B と C は発症日が同日であり、潜伏期間から一致する時期に関空内におり、また麻しんウイルスは中国由来を疑わせる H1 型であったことから、B、C 両者は関空内で同じ H1 型ウイルスに感染したものと推測された。幸い松戸保健所、関空関連会社、大阪府その他多くの方々の取り組みで、前者は 13 名、後者は 33 名の発症、その他数名の余波はあったものの終息に至った。特筆すべきは、2.5 万人もの若者が密に集まるコンサート会場に麻しん患者 B がいたにもかかわらず、二次感染者は数名に過ぎなかったことである。かつては大学祭などで多数の患者を出したことがあったが、現在多くの若者はワクチン接種によって守られていたのであろう。昨年、数カ月で 1000 人の麻しんが発生したベルリン、同じころ米国ではデイズニーランドでの発生をきっかけに全米で 600 人の麻しんが発生したのに比較すれば、今回のわが国は小火の段階で終わることができたと言えよう。なんととっても日常からの定期接種が最重要であるが、国際空港など多くの人が入り出すところは、感染症も入りやすいところとしての警戒と予防が今後必要であろう。

(文責 川崎市健康安全研究所長 岡部信彦)